



子どもの森づくり通信

(発行：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク)

JP子どもの森づくり運動
参加園月例会報
(2018年2月号)

〒146-0082 東京都大田区池上1-3-4 tel:03-5755-3213 fax:03-5755-3081
<http://www.kodomonono-mori.net> <mailto:info@kodomonono-mori.net>

「JP子どもの森づくり運動」とご縁をもたせていただいた方々に、活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。



今年の冬は、雪国では何年ぶりの豪雪となる厳しい季節となりました。
そんな季節の中でも確実に春は近づいているようです。
写真は、事務局の近くで見つけた“どんぐり”の赤ちゃんです。
厳しい寒さの中でも頑張ってくれています。

(目次)

1. JP子どもの森づくり運動「全国集会&研修会2018(福岡大会)」レポート
2. 「東北復興グリーンウェイブ」東北の“どんぐり”の苗木を見送る活動レポート
3. 事務局からのお知らせ
 - 新・どんぐり博士の育苗講座(2018年2月号)

■「JP子どもの森づくり運動」とは

今、子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。しかしながら、子どもたちは、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来の生きる力を育みます。「JP子どもの森づくり運動」は、NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク(「子森ネット」)が「日本郵政グループ」との協働体制で、全国の幼稚園・保育園を拠点に、一貫した森づくり活動を通じて幼児期の子どもたちに自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

■「JP子どもの森づくり運動」運営体制

- ・運営 : NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク(「子森ネット」)
- ・特別協賛 : 日本郵政グループ
- ・後援/協力

(公社) 全国私立保育園連盟	(公社) 大谷保育協会
(公社) 国土緑化推進機構	NPO法人C・C・C富良野自然塾
(一社) 日本森林インストラクター協会	NPO法人自然体験活動推進協議会
NPO法人MORIMORI ネットワーク	(一社) 日本オート・キャンプ協会
(株) 実業之日本社 月刊ガルヴィ編集部	保育環境研究所ギビングツリー



1. JP子どもの森づくり運動「全国集会&研修会2018（福岡大会）」開催レポート

2018年2月15日(木)、16日(金)の両日で、福岡県北九州市小倉にて、アウトドアタレント清水国明さんの記念講演会と「全国集会&研修会2018（福岡大会）」が開催されました。JP子どもの森づくり運動10周年記念としての開催です。今回も、地元の先生たちが実行委員会としていろいろ準備に取り組んでいただきました。あらためて心より御礼申し上げます。おかげ様で、大変充実した大会となりました。スペースの都合で、ご紹介できない内容も多いので、詳細はホームページにてご紹介させていただきました。



午後から、「全国集会&研修会2018」が開催されました。事務局による活動発表につづいて、「信州型自然保育認定制度」に取り組んでいらっしゃる長野県次世代サポート課の竹内延彦さんによる基調講演が行われました

竹内さんのお話しを受けて、「幼少期の自然体験活動を考える」というテーマで、パネルディスカッションが開催されました。パネラーには、「若久青い鳥保育園」岡村園長、「ももそのこども園」今井園長、「大野幼稚園」藤園長にご参加いただき、会場を巻き込んで熱のあるディスカッションが行われました。



その後、JP子どもの森づくり運動が提唱する「災害時相互支援協力協定」の第三弾が、「ももそのこども園」「新宿こだま保育園」「豊間根保育園」の3園で、締結されました。

一日目のスケジュールの最後は、飯田女子短期大学幼児教育学科 講師の田中住幸先生による幼児の自然体験講座が開催されました。



二日目は、防災研修会です。まずは、「菊地さくら保育園」の本藤潔園長より「熊本地震を教訓とした自然災害の備えについて」という基調講演が行われました。

基調講演につづいて、恒例の消防庁アドバイザーの(株)タフ・ジャパン代表 鎌田修広氏による防災実践講座です。今年も大好評でした。



早々と来年は、滋賀県での開催が決定になりました。また、お会いしましょう。

2. 「東北復興グリーンウェイ」 東北の“どんぐり”の苗木を見送る活動レポート

●福井県「鯖江いずみ保育園」東北復興グリーンウェイ「苗木を見送る会」

・日時：2017年5月15日（月）・場所：自園ホール ・参加者数：15名（学童）

・日本郵政グループ：鯖江鳥羽町郵便局

* ①どんぐりを育てることになった経緯を聞く ②東日本大震災について、写真や映像などで学ぶ。

③どんぐりを箱詰めする。④みんなで記念写真。④鯖江鳥羽町郵便局にて送ってもらう。



●千葉県「今井保育園」東北復興グリーンウェイ「苗木を見送る会」

・日時：2017年5月10日（水）・場所：自園 ・日本郵政グループ：千葉中央郵便局

* 郵便局の制服を着た二人の職員さんにも手伝ってもらい、やさしくボックスに入れる様子がほほえましいですね。

事務局では、岩手の保育園さんあてのメッセージカードをお預かりしましたので手渡ししてきました。



3. 事務局からのお知らせ

1) ユーチューブチャンネル「子森チャンネル」のご案内

ユーチューブチャンネル「子森チャンネル」では、最新の活動が動画でアップされています。最新のプログラムは、「♪どんぐりえがおダンスコンテスト2017」の選考結果です。今回も、子どもたちが楽しく踊ってくれました。是非、ご覧下さい。



*視聴方法

- ①「子森ネット」ホームページ (<http://www.kodomono-mori.net>)
⇒子森チャンネル&通信 ⇒子森チャンネル
- ②左記のQRコードからもご覧いただけます。

2) 「子ども食堂」ボランティアスタッフ募集のお知らせ

東大阪市の参加園、認定こども園「木の実キッズキャンパス」では、1月末に、『「ごはん」と「学習支援」を通して、子どもと地域が安心して楽しく過ごせる場所を提供する』子ども食堂「木の実キッズダイナー」をオープンしました。キッズダイナーで提供されるごはんは、子どもの育ちを支えるため、無農薬かつ有機栽培されたこだわりのスーパー玄米「発芽玄米」2割と白米8割の配合で提供されます。『学習支援では、学校から出された宿題だけではなく、デジタル教材を用いて、ひとりひとりの学力レベルに応じた教育の提供を目指す』とのこと。現在運営をお手伝いいただけるボランティアスタッフを大募集中。子どもの育ちを支援する素晴らしい活動ですので、皆様の積極的なご参加をご案内申し上げます。お問合せは、「木の実キッズキャンパス」tel:06-6721-6241まで。



●新・どんぐり博士の育苗講座(2018年2月号)

参加園で植え付けが行われ、育てられた代表的などんぐりの木について解説しております。コナラの次にお話したいのがクヌギです。コナラより大きくて丸い(球形)どんぐりが子どもたちに大人気の木です。

子森ネット「どんぐり博士」：河内和男(森林インストラクター)



クヌギは、ずっと昔から日本に存在していた木ではないようです。アジア全体に広く分布する木ですが、日本に存在するクヌギは、朝鮮半島から渡来したものとされています。さて子どもの森づくり運動10周年企画「ぼくの木、わたしの木を知ろう」で、どんぐりの木のルーツを遺伝子レベルで調べて生物多様性を知ることを目指していますが、日本に分布するクヌギの遺伝子の種類は一種類しかないそうです。大陸から一種だけが渡ってきたものと思われる。つまり、クヌギ以外の木では生物多様性に配慮し、ふるさとから遠く離れた場所への植樹を避けなければなりません。クヌギは国内での地域差が無いので、生物多様性的配慮があまり必要ない木と考えられています。

次に、樹木としては落葉広葉樹で、高さ15m、幹の直径60cmほどで、コナラより一回り小さい高木となります。またコナラが持っていた陽樹の性格がとても強い木ですので、どんぐり植え付け後数年間は、コナラの苗より速く生長します。また手入れが行き届かず日当たりの悪い森の中では、樹勢が衰えやすいです。

クヌギの特性として最後に付け加えたいことは、樹液が昆虫の大好物だということです。その代表が、カブトムシとクワガタです。どんぐりの形といい、子どもには宝の木でした。しかし、腐葉土や朽ち木というそれらの虫のゆりかご減ってしまった(都会化した)地域では、やっかいな虫の飛来が問題になっています。スズメバチです。残念ながら良い対策が無い状況ですので、起こりうる危険として頭の中に入れておいてください。